



毎月
第3日曜日
10:30-16:00
開催

GROW

SUSTAIN

Products

Craft

ORIGINAL

Leather

ASHIHARABASHI Sta

LOCAL

Fresh

MADE FRESH FOR YOU

ORGANIC

レザークラフトを中心にオーガニックやこだわり食材、手しごとをたくさん集めたマーケット、芦原橋でスタート。

UP MARKET

in 芦原橋



芦原橋アップマーケット

10:30-16:00 毎月第3日曜日開催 6/16・7/21・8/18・9/15・10/20・11/17

主催/芦原橋地域再生推進協議会 後援/大阪市浪速区役所 協力/大阪府立大学

企画・運営・お問合せ/一般社団法人リード info@reedjp.org

www.reedjp.org

芦原橋「最高」の街

高齢化で活性化策 若い世代にPR

世帯の9割が団地在住で高齢化が進む大阪市浪速区・芦原橋に若い世代を呼びこもうと、地元住民や企業がさまざまな活性化策を計画している。16日には地域内外の名店約50店を集めた「第1回芦原橋アップマーケット」を開き、「日本一カッコいい市にしたい」と意気込む。

かいわいは現役世代の流出と高齢化が深刻だ。同じ浪速区にサテライト教室を置く府立大は昨年3月から、地域貢献の一環として地域の課題を調査。その結果、人口減少の一因としてあげられたのが公営住宅の多さだった。収入の増えた現役世代は公営住宅を離れ、地区外に出て行ってしまう。地域の大半を市有地が占めるため商業施設が少なく、民間マンションなどの進出も進んでいない。

府大は昨年5月、イベントなどを通じて地域のブランド価値を高めることをアドバイスした提案書を区役所へ出した。これを受け、住民や地元企業などは先月、マーケットなどの活性化事業を進める社団法人「リイド」を設立。名称はアシを意味する英語からとった。区役所も、地域活性化に役立つ催しを支援する「イベント得区」制度をつくり、会場の市有地を無償で貸し出すことを決めた。

その第1回のイベントがアップマーケットだ。リイドや地元自治会などでつくる地域再生協議会が、JR



「芦原橋アップマーケット」の運営方針を話し合う、(右から)南本庸介さん、榎並二朗さんらリイドの理事たち＝大阪市浪速区

50店集め 16日「市場」初開催

芦原橋駅南側の市有地約4300平方メートルを借りて主催。30、40代をターゲットに、地場産業の皮革製品やアクセサリー、無農薬食材などを集めた。

1931年から続く和太鼓メーカー「太鼓正」の南本庸介社長(97)は太鼓作りの実演やステージでの演奏を検討し、「太鼓の街をPRしたい」と力を込める。皮革製品の販売や職人育成を手がける「レザーワークスコーポレーションズ」は手作りのバッグなどを出品する。代表の橋本みずえさん(40)は「一帯は有名ブランド品の製造を請け負う皮革業者も多い。あまり知られていない地域の魅力を伝えたい」。

今後はマーケットを毎月第3日曜日に開く。また、週末に有機野菜料理を奨励する「芦原橋キッチン」の開催や、自転車圏内にある「朝ごはん屋台」を開くことも計画している。

リイドの幹事企業を務める「榎並工務店」の榎並二朗副社長(52)は「本格的に外から人を呼び込むイベントは初めて。地域の結びつきは元々強いので、新住民が加わって新たなまちづくりのエネルギーが生まれてほしい」と話す。

16日のマーケットは午前10時半から午後4時。問い合わせはリイド(06・6568・3630)。

(佐藤達弥)